

団地にすみ着いてふんをするハトを天敵のタカで追い払う取り組みが、美作市で行われました。記事を読んで質問に答えましょう。

てい がく ねん
**低学年も
チャレンジ!**

Q1

団地には10年以上前からハトがすみ着いているようです。

建物のどの場所に居座っていますか。第2段落から探し、書いてみましょう。

Q2

取材をした日にもたくさんのハトがいました。何羽以上いましたか。

読んでみよう 解いてみよう さん太のワークシート

Q3

団地では、タカの活用以外の対策も進んでいます。何をしていますか。次の三つから正しいもの一つ選びましょう。

か つ よ う い が い た い さ く す す
な に
つぎ みつ ただ
ひと えら

- ①花火を打ち上げる
- ②建物に鏡を置く
- ③建物に鳥を防ぐネットを設置する

◇「さん太のワークシート」は自由にダウンロードして、学校や家庭での学習に活用してください。

か こ もん だい
過去の問題は
こちらから▶▶



ふん害に悩む美作の団地 市が鷹匠に依頼



団地に居座るハトにタカを向かわせる鷹匠

「安全な場所だと認識しているハトは執着が強い。危険があると伝えれば少しずつ減るはずだ」と原さん。約3時間にわたり何度もスズを向かわせた。市都市住宅課は「ハトを追い払い、より良い住環境にしたい」として、今月中に計4回タカの放鳥を実施。建物に防鳥ネットを設置するなどの対策も進めている。(常井智之)

ハト追い払い 天敵タカで

団地にすみ着いてペランダや車の上にふんをするハトを天敵の力を借りて追い払おうと、美作市は今年、タカの放鳥を実施している。同市入田の定住促進住宅入田団地で、鷹匠の手から飛び立ったタカが厄介者にいらみを利かせる。

4棟160戸の団地には10年以上前から建物の屋上やペランダにハトが居座り、ふん害に住民が悩まされてきた。市が専門業者に対策を依頼し、大阪府箕面市の鷹匠原光希さん(20)と相棒のハリスホ

ーク「スズ」が追い払いに協力する。20日は30羽以上のハトが屋上にずらり。スズが近づくと一斉に飛び去ったが、しばらく上空を旋回して別の棟の屋上に舞い降りた。